

神社名：和田堀稲荷神社 わだぼりいなりじんじゃ

住 所：練馬区石神井町1-21

調査月日：2020年1月4日

調査参加者：栗田、菅野、木村、梅田、宮崎、小幡、浅見、竹内、小林、木村（怜）

写 真：



由来など： 創立年代不詳。「地誌調写置」下石神井村の項に、「御除地、稲荷宮半左衛門持」とある。この稲荷宮が当社であると思われる。しかし昭和7年（1932）建立の神社名碑は「渡辺伝五郎翁が伏見の里から遷し祀りしと伝う」と記している。この渡辺伝五郎は半左衛門の子孫であると記している（東京都神社名鑑）。

昔は伝五郎稲荷として知られ、旧字和田地区の鎮守であった。「北豊島郡誌」に「由緒、社記ニ京都伏見稲荷ノ分社ナル由伝フ。」「氏子石神井村大字下石神井和田全部、300戸」とある。明治以後は石神井台氷川神社の祠掌するところとなった。（以下省略）（「練馬の神社より」）

祭神など：倉稲魂命

空間位置・面積等・植生など：境内は掃き清められており、大きな社務所などから管理は行き届いていると思われる。立木のみで社叢としては成立してはいないが、神木のシラカシが「ねりまの木」「保護樹木」としてあり存在感があるので見劣りはしない。正殿裏か境内の脇の方に幼樹を育てたい。

平面図：

和田堀稲荷神社

2020/01/04

